

「頑張るということばについて」

私も便利なのでつい使ってしまうことが多いのですが「頑張る」という言葉について。

「頑」の字は、日本語では主に「頑固」や「頑強」といった言葉で使われます。この場合の意味は意思が強く、容易に変わらない様子を現します。特に自分の考えや信念に固執することを指し、否定的な意味で用いられ、「融通が利かない」「意地を張る様子」を示すこともあります。

「彼はとても頑（かたく）なに見える姿勢を崩さない。」「彼は頑固な性格だ。」など、あまり良い意味で使われないこともあります。柔軟性に欠け、意地を張る様子を指すこともあり、「頑迷」などのことばに使用されることもあります。

一方で「頑」は、「強くてしっかりしている」意味も持ちます。この場合丈夫で壊れにくい様子を表現して、物や体の丈夫さを表す場合に使われます。「頑丈」とか「頑強」といいますよね。

「頑」という漢字は、「かたくな」「愚か」「丈夫」「しっかりしている」といった意味を持ちます。これは、頑固で動じにくい性質や心身の強さを表すものです。

どの言葉を見ても「頑張る」の「頑」は石をイメージさせる固い言葉です。

そして「張る」は引き伸ばす、広げる、物をピンと張り詰める、伸ばすという意味です。感情や精神的な緊張を表現し、「力を込める」ことを意味することもあります。場の空気がピリピリと緊張感で張り詰める様子が思い浮かぶこともありますし、自分を大きく見せるように虚勢を張る、「気張る」など、堂々として威張るなど貫禄を示す様子を表すこともあります。

合わせると「かたくなに張り詰める」という意味が読み取れます。例えば病氣と闘っている、または自分で最大限の努力をしていると思っている人にも「頑張って」と言ってしまうことは「いまよりもさらに石のように気を張り詰める」ことを要求してしまうのかもしれません。

「柔軟」という言葉があります。「柔」も「軟」も「やわらかい」という意味があります。場面によって「柔軟に考えて良い」という意味で「頑張る」のかわりに「やわばる」とか「やんばって」と言ってあげたほうが、心が軽くなるのかもしれません。

石は床に落とすと割れたり床が傷ついたりします。自分にとっても周囲にとっても良い状態とは言えません。本当に苦しんでいる人に安易に「頑張って」と言わないように気をつけたいと思います。